

2020年 タカの渡り調査報告

担当 田川 亨

今年も鷹の渡り調査にご協力頂いた皆様、大変お世話になり有難うございました。県下一斉調査は、期間を延長し9月12.13.19.20.26.27の6日間を設定。任意調査を含め11日～30日までの貴重なデータを頂きました。今年はコロナ対策初め、刈安山でクマが出て探鳥会が中止。福井ブロックや風吹峠でもクマと出くわした方が居ました。そんな中、大きな事故も無く終了出来安堵しました。調査期間前半は強風、後半は雨に祟られ、雲海に遮られ止む無く中止せざるを得ない定点が多く、欲求不満が募る調査になってしまいました。



村上公輝 氏 撮影

刈安山	月日	サシバ	ハクマ	他	合計
あわら市	9月12日	19	22	9	50
547m	9月19日	12	8	5	25
	9月20日	2	2	2	6
	9月26日	0	0	1	1
	9月27日	0	0	0	0
	9月28日	43	45	9	97
	合計	76	77	26	179

刈安山：刈安山西側の裾野上空から南方面へ飛去、定点頭上や突然南後方から現れ劔ヶ岳方向に飛去するなど全体に、従来より西側から出現する個体が多くいた為発見が遅れた。その原因の一つには周りの樹木が大きくなり低く飛ぶ個体を見つけることが困難になった為かと思う。

大仏寺林道A	月日	サシバ	ハクマ	他	合計
永平寺町志比	9月12日	0	0	0	0
宇坂トンネル上	9月19日	2	8	2	12
380m	9月20日	0	0	0	0
	9月23日	1	0	0	1
	9月26日	0	0	0	0
	9月28日	0	0	2	2
	9月29日	0	0	0	0
	合計	3	8	4	15

福井ブロック：大仏寺林道C（吉峰寺側一本杉→電波塔に変更）を対岸から眺め足羽川沿い南にある白樺林道に新しい定点D,Eを設置。調査期間中に多く出たのは、刈安山を遠くに見る（昨年よりやや位置を変更した）大仏寺林道A（ハクマは刈安山と同数）、足羽川沿いの大仏寺林道B（大岩）で多くを観察。

大仏寺林道B	月日	サシバ	ハクマ	他	合計
大仏寺線大岩	9月12日	0	0	0	0
	9月15日	0	0	0	0
	9月19日	0	0	0	0
	9月20日	0	4	3	7
	9月24日	0	0	2	2
	9月26日	0	0	0	0
	9月27日	0	0	0	0
	合計	0	4	5	9

大仏寺林道C	月日	サシバ	ハクマ	他	合計
電波塔	9月16日	0	1	0	1
670m	9月20日	3	1	2	6
	9月21日	0	0	0	0
	9月22日	1	0	0	1
	9月26日	0	0	0	0
	9月27日	0	0	0	0
	9月28日	0	0	0	0
	合計	4	2	2	8

白樺林道E,Dは伸び悩んだ。大仏寺林道Cでは哺乳類のクマが20m前方に出て来たそうで「熊が出たと無線した所、クマタカが出たのかと勘違いされた」との事。福井ブロックは範囲が広く、中々絞り切れない、今後も地道な調査が必要。



白樺林道D地点	月日	サシバ	ハクマ	他	合計
福井市三万谷町	9月19日	1	1	1	3
400m	9月20日	0	0	0	0
	9月21日	1	1	0	2
	9月22日	0	1	0	1
	9月26日	0	0	0	0
	9月27日	0	0	0	0
	合計	2	3	1	6

白樺林道E地点	月日	サシバ	ハクマ	他	合計
福井市三万谷町	9月12日	2	0	0	2
480m	9月15日	0	0	0	0
	9月19日	0	2	0	2
	9月20日	0	2	0	2
	9月21日	0	1	0	1
	9月26日	0	0	0	0
	9月27日	0	0	0	0
	9月29日	0	0	0	0
	合計	2	5	0	7

部子山	月日	サシバ	ハクマ	他	合計
池田町	9月19日	0	1	2	3
900m	9月20日	0	4	1	5
	9月26日	0	0	0	0
	9月27日	0	0	0	0
	合計	0	5	3	8

部子山：調査地の高度が高いので雲に邪魔され視程が効かない。今年は山頂下900mで広範囲を見渡し調査する為、2名で大野方面と丹南方面が見える定点を設定。丹南方面定点では眼下から出た個体が旋回上昇を繰り返し更に2000m上昇、又水平に飛来した個体共に南西に飛去。

風吹峠(段ノ岳)	月日	サシバ	ハクマ	他	合計
杣木俣～魚見林道	9月12日	0	0	0	0
池田町	9月14日	1	2	0	3
600m	9月15日	2	1	0	3
	9月22日	0	8	0	8
	9月29日	6	3	0	9
	合計	9	14	0	23

風吹峠：今庄～池田に抜ける新しい林道（杣木俣～魚見間）に昨年調査終了後から何度も通り、此処はと期待した新定点。22日午前中にハクマ8羽出たが、大きく期待していたので物足りない。



矢良巢岳	月日	サシバ	ハクマ	他	合計
河野	9月11日	9	7	0	16
470m	9月12日	8	2	0	10
	9月14日	5	4	1	10
	9月15日	6	7	3	16
	9月16日	3	2	2	7
	9月19日	3	1	2	6
	9月20日	2	15	0	17
	9月21日	23	25	4	52
	9月22日	0	3	2	5
	9月24日	2	0	0	2
	9月27日	3	0	1	4
	9月28日	22	8	3	33
	9月29日	16	4	3	23
	9月30日	0	1	1	2
	合計	102	79	22	203

矢良巢岳：ハチ？に刺されながらも孤軍奮闘。地付きサシバにハイタカ「この鷹は渡るの？渡らないの？双眼鏡を持つ手がだるくなるのだけど・・・」と独り言を言った？とか言わないとか？10月21.28.29半日ながら23～52羽観察、終日居たら全盛期と同数近く出たかも知れない。昨年急逝された門前事務局長の奥様も参加。

鉢伏山	月日	サシバ	ハクマ	他	合計
今庄	9月11日	0	20	0	20
600m	9月12日	16	46	5	67
	9月15日	3	15	2	20
	9月20日	2	32	4	38
	9月22日	0	10	1	11
	9月27日	1	1	0	2
	9月29日	6	3	0	9
	合計	28	127	12	167

鉢伏山：9月11日から29日まで観察時間の長短はあるが7日間でハクマ127個体を確認。どの日もほぼ北風で檜尾谷と孫谷に挟まれた尾根を上昇し木ノ芽峠辺りから南西へ行く個体と、鉢伏山から「北に派生する稜線」沿いに南下する個体がほとんどであった。今年は高い空を飛ぶ個体が多く、かなりの見落としがあったと思われる。

杉津	月日	サシバ	ハクマ	他	合計
敦賀市	9月19日	0	10	8	18
160m	9月21日	0	6	3	9
	9月28日	8	18	4	30
	合計	8	34	15	57

杉津：上記「北に派生する稜線」の海側で普段の鉢伏山定点より西側に位置し3日間設定。ほぼ定点上空に出現し鉢伏山の西側沿いに南下した。1回だけ敦賀半島方向に海上を渡るハクマ2個体を観察した。

天筒山	月日	サシバ	ハクマ	他	合計
敦賀市	9月11日	38	10	3	51
171m	9月12日	18	62	18	98
	9月13日	5	4	1	10
	9月14日	雨			0
	9月15日	49	20	14	83
	9月16日	7	25	7	39
	9月17日	3	7	2	12
	9月18日	雨			0
	9月19日	21	4	4	29
	9月20日	51	56	9	116
	9月21日	45	18	10	73
	9月22日	41	23	27	91
	9月23日	51	18	19	88
	9月24日	17	26	13	56
	9月25日	雨			0
	9月26日	0	2	0	2
	9月27日	6	2	5	13
	9月28日	132	5	8	145
	9月29日	362	51	55	468
	9月30日	71	5	37	113
	合計	917	338	232	1487

天筒山：8月末から連続調査しており日毎に変化が有る。矢良巢や鉢伏山からの「行ったヨ！」連絡を受け待つこと事15分～50分（風が無いと遅い）種数がほぼ同数通過するとお礼の連絡。29日には杉津前で20倍望遠鏡でも米粒が見え隠れする小さなタカ柱を待つ事30分。飛来したタカは31羽を数える。同時刻鉢伏山で調査していたが少数だったので、海岸稜線コースを飛来と思われる。

御嶽山	月日	サシバ	ハチクマ	他	合計
東美浜IC裏	9月24日	3	6	4	13
548m	9月29日	6	2	5	13
	合計	9	8	9	26
三十三間山	月日	サシバ	ハチクマ	他	合計
三方町	9月22日	0	51	2	53
770m	合計	0	51	2	53

御嶽山：敦賀を通過したタカが奥本保と河内の森方向へ分岐するのはここ辺りと予想し2時間登って調査。結果は予想的中で満足して下山。

三十三間山：2時間掛けて登り調査。飛去方向は、河内の森方向と確認。どちらも健脚の平城さんの登山調査。

奥本保	月日	サシバ	ハチクマ	他	合計
小浜	9月14日	4	6	0	10
386m	9月15日	3	0	3	6
	9月16日	4	3	0	7
	9月20日	0	3	8	11
	9月26日	0	33	4	37
	9月27日	2	2	0	4
	9月28日	1	2	0	3
	9月30日	8	1	3	12
	合計	22	50	18	90

奥本保：26日にハチクマ中心に37羽観察出来、タカファンは久しぶりに賑わう。此処は出ると近いが、風向きの関係で出方のバラツキが大きい。

父子	月日	サシバ	ハチクマ	他	合計
	9月12日	3	3	0	6
	9月19日	7	4	0	11
	9月21日	4	9	3	16
	9月27日	0	1	0	1
	合計	14	17	3	34

父子：定点は父子川上流部で小屋から、おおい町へ抜ける急峻な林道の急カーブで背後に山を背負い見ている。東方林道稜線沿いから出て近づくが、樹々に遮られ見えなくなる。高度が高い場合は上空を通過し背後の稜線に消失。

来年は稜線の向こうにも定点を設置して二点調査すると、早くも来年に向けた話が進む。

来期に向けて：天候に風、更に運（これが一番大きいかも知れない）に左右されやすいタカの渡り調査。一日違うだけで数、コース、高度が違う。「来年こそはルートを見つける！」と早くも来期の定点を模索している方々の熱い思いを感じる。半年後、そして一年後にタカと会える日を楽しみに！皆様のご協力を引き続きお願い致します。

追伸：今年も天筒山で9/21日にコウノトリがサシバと共に通過。県自然環境課木村獣医によると20日まで鯖江市に、23日に徳島県松茂町で確認されたJ0195では無いかと推察する、との事でした。

調査員：赤星昇、赤間善男、麻畑久人、井尻雅己、大塚育恵、大塚宗是、大西五十二、大宮正太郎、大村隼人、大村友香、香川正行、組頭五十夫、小嶋明男、酒井敬治、澤田信子、鈴川文夫、鈴木健蔵、瀬戸靖夫、高谷浩一、高谷三恵子、武田真澄美、田原伸吾、田中広幸、辻義次、土田孝幸、出口翔大、西野敏夫、橋崎建次、早川詠子、藤本尚子、平城常雄、堀孝雄、蒔田憲三、松田信廣、村上公輝、門前幸路、柳町邦光、矢部正美、矢部芳子、山崎範子、山根眞一、横山大八、吉田小百合、吉田麻里子、三田村渉、三田村宙軌、小椋彰彦（舞鶴）、田川亨

